

しまなみ

敷島南小学校
学校だより No.20
令和4年2月24日
学校長 丸茂和也

♪ 力と心を、ありがとうございます ♪

全国、そして甲斐市を始めとする山梨県内のコロナウイルスの感染拡大という深刻な事態となりました。分散登校を経て、一時は減少傾向が見られ、好転の兆しが見え始めたと思ったところ、先週からは再び増加傾向に転じて、誰がかかってもおかしくないという大変厳しい状況が続いています。

そのような中ですが、学校でも3密回避や手洗い・消毒の徹底等を始めとする基本的な対策を継続し、ご家庭でも毎日の健康観察を始め、具合が良くない場合など急なことが発生したときでも、すばやいそして温かい対応をしていただいています。こんな時世ですが、本校の保護者の皆様は力と心を尽くしてくださっています。本当にありがとうございます。



「どんなに暗い夜だって、数時間待っていれば日は昇る」

昨日帰りに聴いたラジオから流れてきた歌の歌詞です。南小の子どもたちとなら、教職員となら、そして保護者の皆様とならこの状況もきっと乗り越えられる。希望をもって、丁寧に力と心を合わせながら向き合っていけば大丈夫、大変で難しい状況ではありますが、そんな気持ちを感じているところです。

皆で笑顔で年度のゴールテープを切るために、子どもの笑顔のために、今後とも変わらぬご理解とご協力いただければ有り難く存じます。よろしくおねがいします。

♪ 完成！私たちの体育館 ♪

4月、入学式の翌日から取りこわしが始まり、立て替えをしていた私たちの体育館が夏秋そして冬から春へと向かうこの季節に完成となりました。待ちに待った体育館です。さっそく子どもたちが使い始めており、みんなうれしそうです。

新しい体育館は絵画で言えば真っ白なキャンバスです。そのキャンバスに、思い切りたくさん色や形を子どもたちに描いてもらいたいと思います。



♪ 人をつなぐ，想いをつなぐ，心をつなぐ ♪



2月18日(金)にまとめの児童総会が行われました。役員を中心に全校で取り組んだ児童会の1年間の活動の総括，5～6年生が日々取り組んできてくれた委員会活動のまとめを行いました。児童会も委員会も日々の取り組みの積み重ねで，その一つ一つが学校を支えてきてくれました。とてつもないことをやってのけてしまうことはもちろんすごいことですが，少し努力すればできることを，こつこつと積み重ねることができる，努力を続けられることが人の大きな才能と私は思っています。そんな努力を続けてきてくれた児童会役員，5，6年生のみなさんへ心から「ありがとう」を伝えたいと思います。

また21日(月)には，体育館で児童会役員引き継ぎ式がありました。児童会のシンボルである「鍵」が児童会長の田中月乃さんから新会長の羽鳥花歩さんへ引き継がれました。校名旗やファイル等1年間の想いや心がこもったものが続いて渡されました。



6年生が卒業生から受け継いで自分たちが成長させてきた心を今度は5年生がその心を活かしながら，きっと自分たちの色や形に作り上げていってくれます。素直で伸び伸びしてやる気にあふれている，これは本校の子どもたちの一番の良いところと私は感じています。子どもたち大きくあれ！思い切り未来を信じ生きていってほしい！そんな気持ちになる機会でした。

♪ 温故知新～ふるきをたずねて新しきを知る～ ♪

2月22日(火)2～4校時に3年生が昔の道具について学習をしました。手動のドラム洗濯機やせんたく板，火熨斗(ひのし)という昔のアイロンなどを見ながら，道具から昔のことについて学びを深めました。

アイロンを発明したのは「トーマス・エジソン」だそうです。エジソンは，しわだらけの服を着ている人を見て，きれいな服を着せてあげたい，どうやったらもっとかんたんに服のしわを伸ばせるかという思いをもち，苦勞の末にアイロンを発明したそうです。エジソンや技術者のみなさんのそんな気持ち，やさしさがアイロンを発明し完成させてきたことを思い，技術は人を支える，人のくらしを豊かにするという技術の力を感じました。



どんなものにもそこには必ずそれを作った人の想いがあります。子どもたちにとって楽しい機会であると同時に想いを感じる機会となりました。

本校ではホームページを通じて，学校生活の様子を伝えています。ホームページの「お知らせ」のコーナーに最新の様子が掲載されています。是非アクセスしてみてください。

<http://www.city-kai.ed.jp/smscho/>

